

## 2017 年度聖書の集い（第 7 回）

2017 年 12 月 6 日

桃山基督教会

<http://momoyama.hannari.com/>

古本 靖久

- 1、聖歌 69 番 「もろびとこぞりて」
- 2、お祈り
- 3、聖書 ルカによる福音書 2 章 1 節～7 節  
(新約聖書 102 ページ)

### 4、今日の内容

#### キリスト教のおまつり「⑦ クリスマス」

今月は「クリスマス」です。キリスト教の行事の中で、一番身近なものだと思います。でも現実には、その日が一体どういう日なのか、よくわからないことも多いと思います。今日はクリスマスの出来事を通して、キリスト教では神さまをどのように捉えているのかお話ししたいと思います。

#### ① そもそもクリスマスは何の日なのか

クリスマスを英語で書くと、「Christmas (Xmas)」となります。Christ とはキリスト、つまりイエス様のことです。そして mas はミサ、お祭りや礼拝のことです。つまりクリスマスとは、キリストのお祭りということです。具体的にはイエス様の誕生を記念する日です。

仏教ではお釈迦様の誕生日(4 月 8 日)を祝ったり、天皇誕生日という祝日もありますが、世界中で一人の人の誕生をお祝いするということは、異例のことです。また今年が 2017 年ですが、この「西暦」もイエス様の誕生年を起点として始まったそうです。それほどまでに影響を与えているイエス様の誕生ですが、どのような意味があったのでしょうか。

当時の社会には、貧しく虐げられていた人たちがたくさんいました。でも神さまに助けを求めても、きっとお金持ちや幸せな人の言葉しか聞いてくれないだろうという諦めがありました。しかし神さまは人々の間に、イエス様を生まれさせてくださいます。それも貧しい人のところにです。宿屋に泊まれないマリアさんは家畜小屋でイエス様を産みます。もし立派な宮殿でイエス様が生まれていたら、貧しい人々とイエス様とは何の関りもなかったでしょう。しかし神さまはつらい思いをしている人のために、イエス様を送ったのです。

## ② サンタクロースってなに？

少し話を変えて、クリスマスの代名詞となっている「サンタクロース」についてお話します。大手筋商店街には無数のサンタさんが飾られており、また子どもたちの中には、「クリスマスはサンタさんの日！」と思っている子もいるようです。

サンタクロースにはモデルがいます。それは 4 世紀にいた、聖ニコラウスという人物です。あるとき彼が道を歩いていると、ある家から泣き声が聞こえてきます。耳を澄まして聞いてみると、あまりの貧しさのため、三人の娘を身売りすることにしたという話をしていました。そこで聖ニコラウスは、開いていた窓から持っていた金貨を投げ入れます。その結果、娘たちは身売りをせずに済んだということです。

聖ニコラウスはオランダ語で「シンタクラス」と発音されますが、その言葉が英語圏に伝わって「サンタクロース」となったそうです。なお彼が投げた金貨は、偶然暖炉に吊り下げて乾かしていた靴下の中にすっぽり入ったそうです。

サンタクロースは、子どもたち(国によっては大人にも)を笑顔にするためにおもちゃを配ります。北極で妖精エルフと一緒におもちゃをつくり、8頭のトナカイが引くそりに乗って世界中を回ります。好物はクッキーとミルク。トナカイはニンジンが大好きです。ただし悪い子には「黒いサンタクロース」がなまはげのように、悪さをしに来るそうです。

## ③ 子どもたちと大切にしたいこと

「いい子にしてないと、サンタさん来ないよ」、うちの家庭ではなるべくこの言葉は言わないようにしようと心がけています。これからが正念場です。

クリスマスの意味として大切にしたいことは、イエス様が馬小屋で生まれたということ。ふかふかのベッドではなく、暖かな毛布もありませんでした。それはわたしたちの寂しさや悲しみをわかってくれるため。子どもたちが辛いときには、「イエス様はその気持ち、わかってくれているよ」と伝えてほしいと思います。

また家族でお互いにプレゼントをするというのも、すてきなことだと思います。お互いがお互いのことを思いやる日として、クリスマスを過ごしていく。人を大事にし、人から大切に思ってもらう。子どもたちにも、その喜びを大切にしてほしいと思います。

＜桃山基督教会での礼拝のご案内：どなたでもお気軽にどうぞ＞

日曜学校（子どもの礼拝）： 毎週日曜日 午前 9 時 30 分から

日曜礼拝： 毎週日曜日 午前 10 時 30 分から